

長野市中心市街地活性化基本計画

概 要 版



令和8年4月
長 野 市



1. これまでの経緯

長野市では、これまで、国の認定計画となる『中心市街地活性化基本計画（第一期、第二期）』及び、市独自の『中心市街地活性化プラン』を策定し、計画に基づいて様々な施策に取り組んでまいりました。この度、中心市街地の更なる活性化を目指して、第三期となる基本計画を策定しました。

【認定計画】 中心市街地活性化基本計画		【市独自計画】 中心市街地活性化プラン
第一期計画 平成19年5月～平成24年3月	第二期計画 平成24年4月～平成29年3月	平成29年10月～令和8年3月
全54事業	全44事業	全39事業
・善光寺周辺地区街なみ環境整備事業 ・長野駅前A-3地区市街地再開発事業 ・善光寺表参道文化村事業 など  善光寺周辺地区街なみ環境整備事業	・長野駅善光寺口顔づくり事業 ・中央通り歩行者優先道路化事業（第Ⅰ期） ・権堂B-1地区市街地再開発事業 など  長野駅善光寺口顔づくり事業	・城山公園再整備事業 ・まちなか広場整備事業 ・南石堂A-1地区優良建築物等整備事業 ・集客イベント等開催事業 ・街角に芸術と音楽があるまちづくり事業 など   城山公園再整備事業 まちなか広場整備事業

2. 中心市街地活性化に向けた課題

課題1：まちなか居住と交流の促進

市全体の人口が減少していく中、中心市街地では、マンション建設などにより居住人口減少の抑制が期待されています。一方で、市民交流の場となる公共公益施設の利用者数は、コロナ禍により減少し、その後も十分に回復していません。

誰もが生きがいを感じて働き・暮らせるまちの実現に向け、生活を支える機能の充実や利便性の向上に加え、子供からお年寄りまで、多様な世代が集い、交流できる場や機会を提供していくことが必要です。

課題2：地域資源の活用促進

門前に点在する魅力的な店舗などの地域資源の存在が来訪者に十分に認知されていないことから、これら地域資源の魅力発信の強化や活用促進のための取組が必要です。

課題3：魅力ある商業環境の充実

商店街では、担い手不足によって個店の減少や、イベントにおける負担が増加しており、商店街の活力向上に向けた取組が必要です。また、インバウンドや若者のニーズに応えられる店舗が不足していることから、来訪者のニーズに応じたサービスの提供や人々を引き付ける魅力的な空間の創出が必要です。

課題4：まちなかの回遊を促す歩きたくなるまちづくり

善光寺表参道では、歩行者優先道路化事業を進めていますが、長野駅から新田町交差点までの区間は未整備となっています。まちなか回遊を促すためには、居心地がよく快適な歩行者空間や滞留空間の整備に加え、にぎわい創出に向けた空間の利活用など一体的な取組が必要です。

3. 第三期計画の計画期間と区域

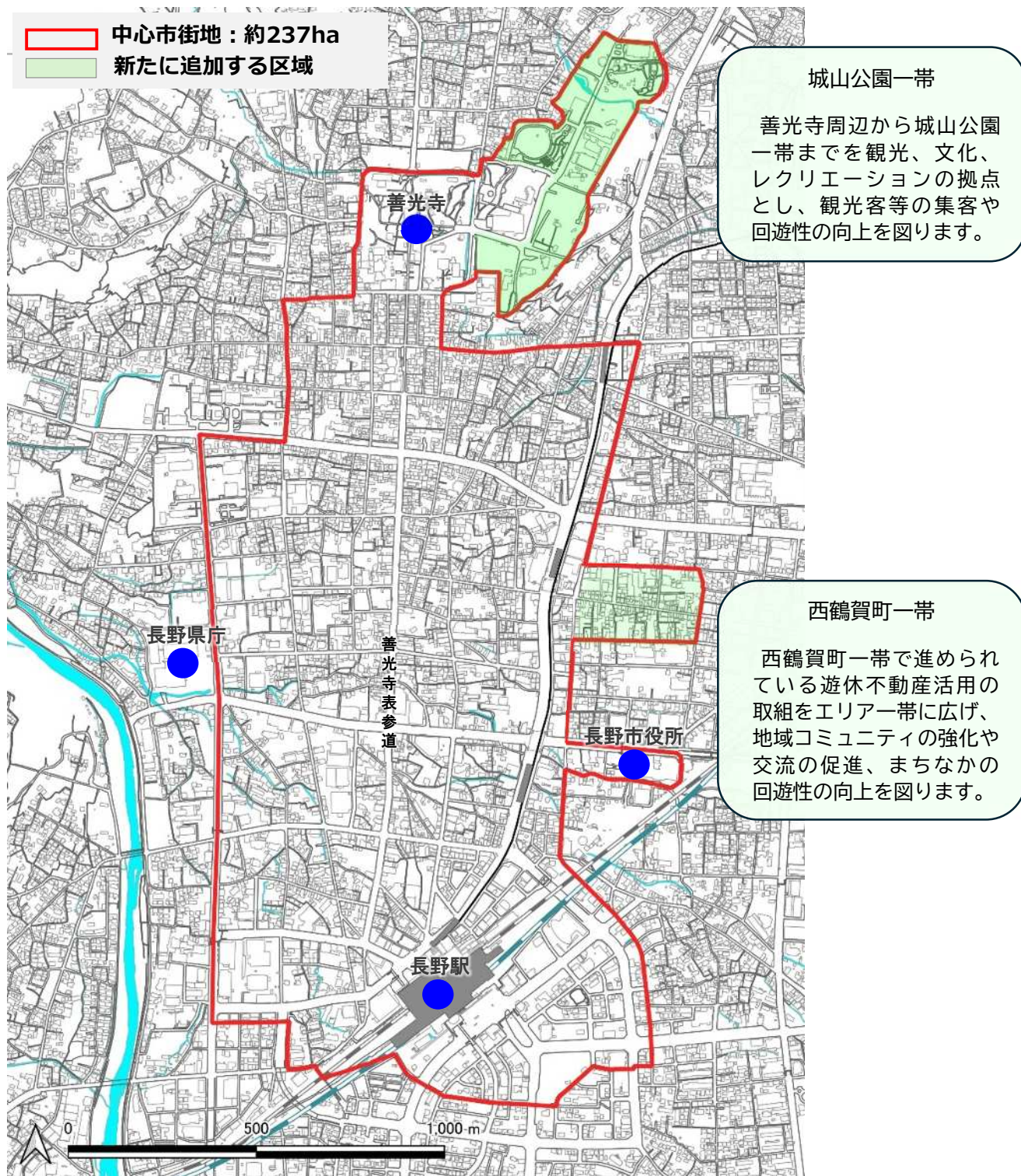
【計画期間】

令和8年4月～令和13年3月（5年間）

【区域】

中心市街地は、長野駅から善光寺に至る善光寺表参道を軸として、長い歴史の中で伝統文化を育み、善光寺や周辺の街並みなど歴史的・文化的資源を数多く有すると共に、行政、商業、業務など 高次の都市機能が集積しています。

本計画では、中心市街地活性化プランの区域を踏襲しつつ、新たに城山公園一帯及び西鶴賀町一帯を追加した、約237haの区域を中心市街地に設定します。

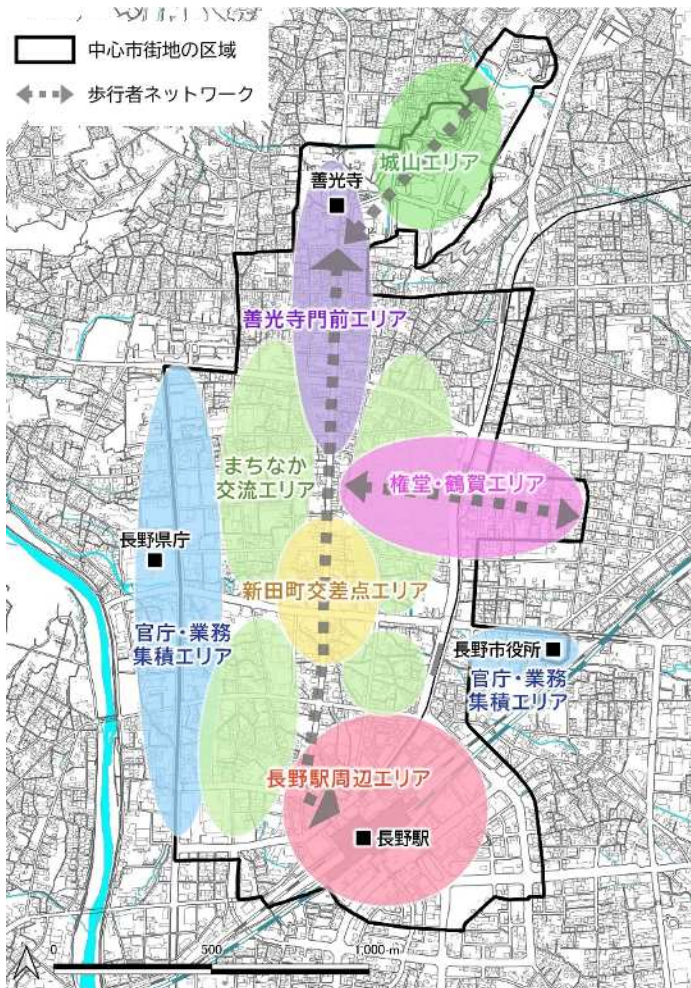


区域図

◆中心市街地のゾーニング（各エリアの役割と将来像）

中心市街地は、歴史や文化的景観を有する善光寺周辺と商業や業務など多様な都市機能が集積する長野駅周辺、これらを結ぶ善光寺表参道を軸としてまちが形成されており、その周辺に様々な機能を有するエリアが存在しています。

中心市街地の各エリアの特性を踏まえ、その役割と将来像を示します。



『長野中央西地区市街地総合再生基本計画』を基に作成

中心市街地のゾーニング・ネットワーク

● まちなか交流エリア

役割：人々の生活を支え、新たな価値を生み出す地域

将来像：まちと新たな感性が会い

創造性を育むエリア

まちの個性を活かしつつ、新たな感性と交わることで、人と人、人とまちを繋げ、新たな価値を生み出していくエリア

● 官庁・業務集積エリア

役割：行政や企業が様々なサービスを提供する地域

将来像：共創により未来の長野をデザインするエリア

多様な主体が連携し、様々なサービスを提供することで、長野の未来を創造していくエリア

● 城山エリア

役割：文化・芸術に触れ、憩いと交流を育む地域

将来像：文化芸術と緑が織りなす 憩いと交流の丘

美術館などの文化施設と公園が一体となり、人々が文化芸術を身近に感じながら憩い、イベントなどを通じて交流を深めることができるエリア

● 善光寺門前エリア

役割：門前町の歴史・文化的魅力を発信し

多くの来訪者を迎え入れる地域

将来像：千年の時を超え伝統と文化が息づく

善光寺門前

善光寺の長い歴史や門前町として栄えた独自の文化を守り育てるとともに、その魅力を多くの人々に伝え、発信するエリア

● 権堂・鶴賀エリア

役割：門前の暮らしを支えるとともに、

多様で魅力的なサービスを提供する地域

将来像：日々の暮らしと多様な文化が交錯し

人々を惹きつける文化創造エリア

門前の暮らしを支えるとともに、アーケードを中心に多様な価値観が混ざり合うことで、新たな賑わいを生み出すエリア

● 新田町交差点エリア

役割：市民活動と情報発信により

中心市街地の結節点となる地域

将来像：伝統と未来が交差する

多世代交流の拠点となるエリア

歴史ある善光寺門前と現代的な長野駅周辺をつなぐ表参道の中心として、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が集い、様々な活動を通じた交流により賑わいを生み出すエリア

● 長野駅周辺エリア

役割：多様な都市機能の集積により魅力と

賑わいを生み出すまちの玄関口

将来像：長野の歴史文化と未来をつなぎ

世界に魅力を発信する県都の玄関口

門前町として発展してきた歴史・文化を踏まえ、新たな魅力と賑わいを生み出していくまちの玄関口

4. 中心市街地活性化のテーマ

善光寺の門前町として発展してきた中心市街地は、善光寺と長野駅を結ぶ表参道を軸に、門前界隈の歴史的な佇まいと長野駅周辺の都市的な要素を併せ持っており、将来にわたり、地域の特性に応じて発展していくことが求められています。

このため、これまで育まれてきた歴史や文化をさらに磨き上げていくとともに、新たな魅力や賑わいを生み出し、将来に向かって持続的に発展していくため、中心市街地の目指す都市像として本計画のテーマを以下のとおり設定します。

歴史を紡ぎ^{つむ} 未来を創造するまち 『門前都市 ながの』

5. 中心市街地の活性化の基本的な方針と目標

【方針1】

多様な都市機能の充実による
誰もが生きがいを感じて暮らせるまちの実現

都市機能を充実させ、快適で安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるとともに、多様な世代が集い・交流できる場を提供することで、住みたくなる、生きがいを感じるまちを目指します。

目標 1

住みたくなるまち

目標 2

生きがいを感じるまち

【方針2】

門前町の歴史や文化を活かしつつ
新たな魅力を生み出せるまちの実現

多様なコンテンツを活用してまちなかの魅力を発信するとともに、地域資源の活用や地元商店街等と連携した賑わい創出に取り組み、新たな価値を生み出すことで訪れたい、滞在したいまちを目指します。

目標 3

訪れたいまち

【方針3】

日常と非日常が行き交う
歩いて楽しめるまちの実現

歩きたい居心地の良い道路空間を創出するとともに、長野ならではの魅力あるサービスの提供により、来訪者にとって歩いて楽しい、回遊したいまちを目指します。

目標 4

歩きたいまち

6. 目標指標・目標値の設定

目 標	目 標 指 標	基 準 値 (R6)	目 標 値 (R12)
1 住みたくなるまち	中心市街地の人口	9,521人	9,800人
2 生きがいを感じるまち	もんぜんぷら座、生涯学習センター、権堂イーストプラザ、市民交流センター及び長野市美術館の年間利用者数	513,329人	572,000人
3 訪れたいまち	中心市街地内のホテルの年間宿泊者数	874,560人	895,000人
4 歩きたいまち	中心市街地の歩行者・自転車通行量	133,400人	137,000人
	善光寺表参道及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗数	17件	13件

7. 中心市街地活性化のための事業 全51事業

目標 1 住みたくなるまち

■ 長野駅前B-1地区市街地再開発事業

末広町交差点北東エリアにおいて、都市機能更新による商業・業務機能の拡充とまちなか居住を促進する施設整備を行うことで、善光寺表参道の玄関口の顔となる新たな拠点の形成を図ります。



整備イメージ

目標 2 生きがいを感じるまち

■ 伝統芸能継承事業

伝統芸能こどもフェスティバルなどを開催することにより、伝統芸能の継承と世代や地域を超えた交流を促進することで、地域への愛着を深め、ふるさと回帰を図るとともに、にぎわい創出による交流人口の増加につなげます。



伝統芸能こどもフェスティバル

■ ながの若者スクエア「ふらっと」運営事業

「ながの地域まるごとキャンパス」の実施など、学生をはじめとした若者が自由に集い交流できる機会や場を提供することで、若者が主体的にまちづくり活動に取り組む機運を高めるとともに、若者同士の交流を促進します。



市長とのトークセッション

目標 3 訪れたくなるまち

■ 長野灯明まつり開催事業

善光寺のライトアップや灯籠を用いたゆめ灯り絵展等を開催することにより、冬季のまちなか観光を推進します。



城山公園の灯籠

■ インバウンド等対応店舗支援事業

外国人観光客に対応した施設整備や、長野ならではの魅力あるサービスの提供、歴史や風情を活かした個店の魅力発信を支援することで、インバウンドの来訪を促進します。



外国人観光客の茶道体験

目標 4 歩きたくなるまち

■ 中心市街地遊休不動産活用事業

中心市街地に点在する空き家や空き店舗などの遊休不動産の活用を促進するとともに、リノベーションで生まれた魅力的な店舗などの情報発信を行うことで、人々の交流やまちなか回遊の機会を創出します。



西鶴賀町まちのすがた座談会

■ 善光寺表参道まち歩き開催事業

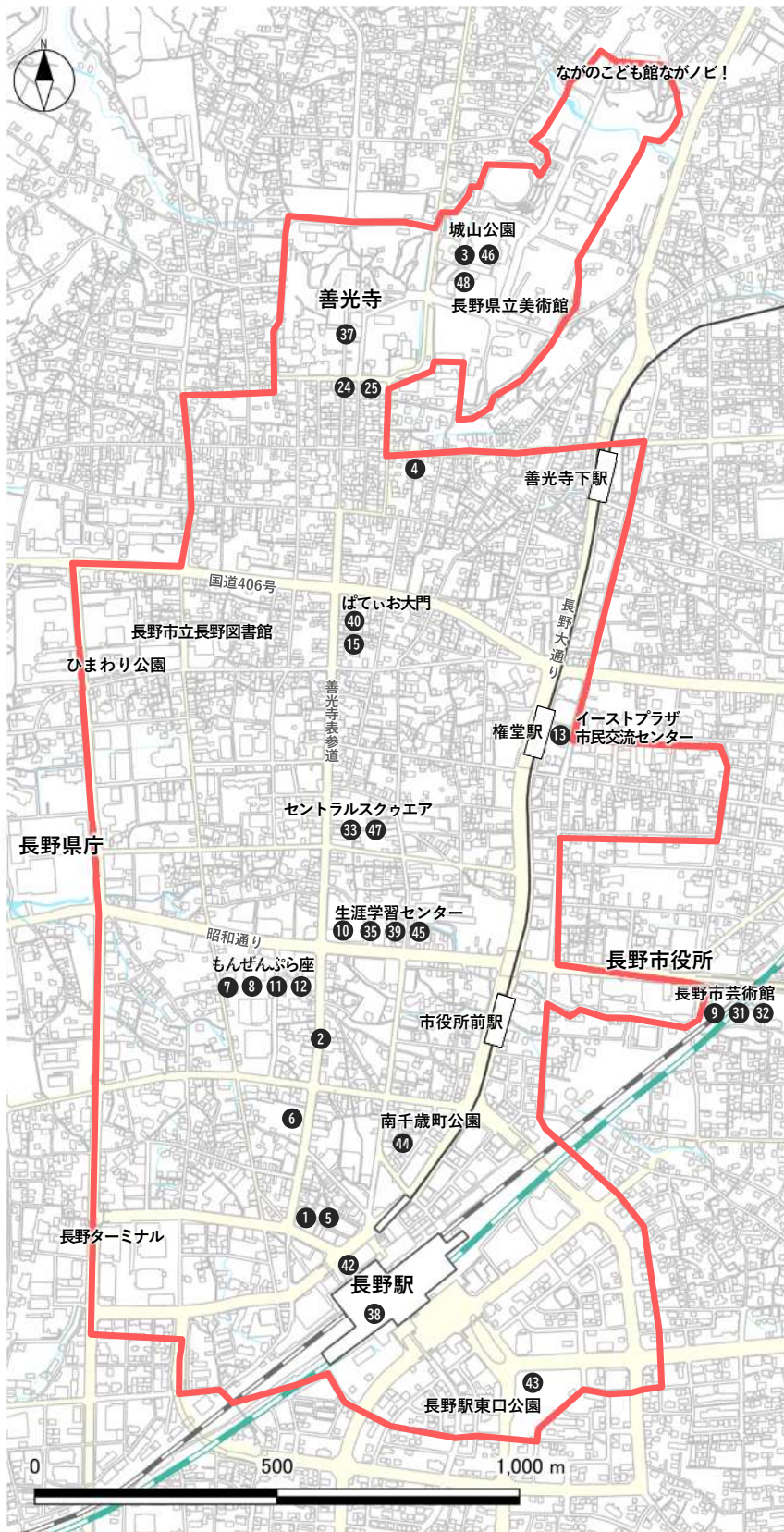
善光寺表参道において、インバウンドを含む観光客を対象としたガイドツアーを実施し、長野の歴史・文化、長野ならではの魅力や楽しみ方を発信することで、再訪の機運醸成を図るとともに、まちなかの回遊行動を促進します。



観光ガイドツアー

第三期計画では、新たに34事業を追加し、全51事業により、中心市街地のさらなる活性化を目指します。

事業箇所図



事業一覧

No.	事業名	新規事業	事業箇所
1	長野駅前B-1地区市街地再開発事業	○	図示
2	中央通り歩行者優先道路化事業		図示
3	城山公園再整備事業	○	図示
4	善光寺東参道整備事業	○	図示
5	長野駅周辺駐輪環境整備事業	○	図示
6	北石堂町共同住宅等整備事業	○	図示
7	ながの若者スクエア「ふらっとb」運営事業	○	図示
8	こども広場「じゃん・けん・ぼん」運営事業	○	図示
9	長野市美術館運営事業		図示
10	生涯学習センター運営事業		図示
11	「ながのこどもわくわくカフェ」運営事業	○	図示
12	もんぜんぶら座運営事業		図示
13	権堂イーストプラザ運営事業		図示
14	中心市街地遊休不動産活用事業		☆
15	もんぜん青空テラス事業	○	図示
16	空き店舗等活用事業		☆
17	まちなか賑わい演出事業		☆
18	商店街イベント支援事業	○	☆
19	商店街活性化事業	○	☆
20	事業承継促進事業	○	☆
21	商品券等発行支援事業	○	☆
22	大規模集客イベント等開催事業		☆
23	善光寺表参道まち歩き開催事業		☆
24	長野灯明まつり開催事業		図示
25	善光寺界限まちなか周遊促進事業	○	図示
26	外国人観光客受入環境整備事業	○	☆
27	長野市レンタサイクル事業	○	☆
28	街角に芸術と音楽があるまちづくり開催事業		☆
29	野外彫刻ながのミュージアム開催事業		☆
30	伝統芸能継承事業	○	☆
31	芸術文化振興事業	○	図示
32	子どものための文化芸術プログラム	○	図示
33	長野マラソンウェルカムフェス開催事業	○	図示
34	長野マラソン開催事業	○	☆
35	信州環境フェア開催事業	○	図示
36	インバウンド等対応店舗支援事業	○	☆
37	善光寺保存活用推進事業	○	図示
38	観光案内施設運営事業	○	図示
39	長野銀座にぎわい市開催事業	○	図示
40	ばていお大門運営事業		図示
41	共通駐車券事業		☆
42	長野駅善光寺口利活用事業	○	図示
43	長野駅東口公園活用事業	○	図示
44	南千歳町公園活用事業	○	図示
45	TOiGO広場活用事業	○	図示
46	城山公園活用事業	○	図示
47	セントラルスクエアア活用事業	○	図示
48	善光寺びんずる市開催事業	○	図示
49	もんぜんパートナーシップ事業		☆
50	自動運転バス導入事業	○	☆
51	市街地循環バス運行事業		☆

☆ 実施箇所を特定しない事業

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市